

令和5年2月8日

保護者の皆様へ

町田市立薬師中学校  
校長 中村伊佐夫

## 令和4年度 教育活動のまとめ（学校評価の報告）

昨年11月には「令和4年度教育活動に関するアンケート」に御協力いただきましてありがとうございました。保護者の皆様及び生徒からのアンケート結果を踏まえて、今年度の学校評価を以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。

### 1 今年度目指してきたこと

教育目標

- 自ら学び考えて行動する生徒……………（確かな学力の育成）
- 礼儀正しく思いやりのある生徒……………（豊かな心の涵養）
- 心身ともに健康でたくましい生徒…（健やかな体の育成）

目指す学校像

- 生徒が安心して生き生きと活動し学ぶことができ、良き歴史と伝統をつくっていく学校
- 生徒が人としての基礎的・基本的な知識・技能と社会性、人間性を身に付ける学校
- 教職員が生徒や保護者の気持ちを理解し保護者や地域と連携に努める学校
- 学校の社会的使命と責任を自覚し、粘り強く組織的に改善に努める学校

### 2 今年度の学校経営計画の重点

- (1) 確かな学力の育成
  - ア 教材研究と指導方法の研究を通して興味を持ち、分かる授業を展開する
  - イ 授業を中心に思考力や表現力を向上させるための活動を充実させる
- (2) 豊かな心の涵養
  - ア 安心していきいきと学校生活をおくるとともに、規範意識の向上を図る
  - イ 人権教育を充実させるとともに自己肯定感を育むための活動を推進する
- (3) 健やかな体の育成
  - ア 体力の向上を図る活動と基本的な生活習慣を定着させる活動を重視する
  - イ 安全で落ち着いた学校生活が送れるように校内の教育環境を整備する
- (4) 社会に開かれた教育課程の実現
  - ア 教育活動の広報に努め、保護者地域から信頼される学校づくりを推進する
  - イ 家庭との連携を強化する

### 3 教育活動に関するアンケート結果から

(1) 確かな学力の育成

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】（ ）内は昨年度の数値

○生徒アンケート「教科の学習に意欲的に取り組みましたか」

全体で 1年84 (88) % 2年94 (86) % 3年94 (91) %

○生徒アンケート「授業の内容はよくわかりましたか」

全体で 1年78 (81) % 2年83 (75) % 3年92 (89) %

○生徒アンケート「家で宿題や予習・復習（練習）をしますか」

全体で 1年49 (60) % 2年72 (52) % 3年70 (66) %

◎保護者アンケート「各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている」 全体67 (62) %

◎保護者アンケート「宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる」 全体63 (60) %

◎保護者アンケート「すすんで読書をしている」 全体45 (33) %

今年度の結果としては、授業の充実に関しては、生徒アンケートでは全体で90%の生徒が学習に意欲的に取り組んだと回答しました。また、授業の内容について「よくわかったか」の問いには、全体で83%の生徒が肯定的に答えており、ある程度授業に集中できていると考えられます。定期考査の結果からは、得点分布が二極化する傾向が見られましたが、今後も授業の内容が分からないと感じている生徒に目を向け、興味が持てる分かりやすい授業と学びが深まる授業が実現できるよう、継続して指導方法を工夫する必要があります。また、タブレット端末の導入などICTを活用した指導方法については、使用する機会を徐々に増やすことができっていますが、さらに効果的な活用方法を工夫することが重要だと考えます。

3年間を通した総合的な学習の時間における体験的・探求的な学習を充実させることや生徒のよりよい発表方法について指導する点については、タブレット端末の活用が効果的でした。今後も3年間の計画的な指導で探究的な学習や自己を表現する力を身に付けさせることを重要視して指導を継続していきたいと考えています。

## (2) 豊かな心の涵養

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】（ ）内は昨年度の数値

○生徒アンケート「学校生活は楽しいです」 全体で 1年90 (94) % 2年96 (87) % 3年96 (94) %

○生徒アンケート「自分から挨拶をします」 全体で 1年75 (91) % 2年92 (85) % 3年89 (92) %

○生徒アンケート「時間や約束守っています」 全体で 1年86 (87) % 2年93 (85) % 3年91 (88) %

○生徒アンケート「人の話しをよく聞きます」 全体で 1年90 (90) % 2年92 (87) % 3年89 (89) %

○生徒アンケート「正しい言葉遣いができます」 全体で 1年66 (81) % 2年92 (83) % 3年91 (88) %

◎保護者アンケート「学校のきまりや家庭でのきまりを守っている」 全体81 (80) %

◎保護者アンケート「あいさつをきちんとしてしている」 全体86 (86) %

◎保護者アンケート「学校はいじめ防止や体罰防止に取り組み子どもの人権を大切にしている」  
全体70 (71) %

◎保護者アンケート「パソコン携帯電話、スマホなどによるネットマナーが身に付いている」  
全体76 (69) %

生徒アンケートで「自分から挨拶をします」で1年生が75%、「正しい言葉遣いができます」で1年生が66%の回答率については改善が必要です。保護者アンケートで「学校はいじめ防止や体罰防止に取り組み子どもの人権を大切にしている」との回答が全体で70%でした。自分を大切に、お互いを尊重しあえる集団となるよう、対人関係からくるいじめの問題や個々の生徒の問題を注意深く捉え、細やかな対応に努めていかなければならないと考えています。

また、特別支援教育や教育相談の充実については、スクールカウンセラーや外部機関（適応指導教室・子ども家庭支援センター・児童相談所・スクールソーシャルワーカー等）と連携し改善を進めていかなければなりません。

保護者アンケートのネットマナーに関する質問では、昨年度より7ポイント改善されましたが、ネットトラブルの未然防止に向けて引き続き指導が必要です。

### (3) 健やかな体の育成

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】( )内は昨年度の数値

○生徒アンケート「中学生らしい服装で生活しています」

全体で 1年92 (94) % 2年98 (92) % 3年98 (94) %

◎保護者アンケート「日常的に運動やスポーツに積極的に取り組んでいる」

全体 64 (59) %

◎保護者アンケート「交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている」

全体 90 (89) %

体育的行事は感染防止に配慮しながら実施することができました。健やかな心と体の育成の面において意義のある取り組みとなりました。保護者アンケートでは「日常的に運動やスポーツに積極的に取り組んでいる」との肯定的な回答が全体で64%でした。新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら体力向上につながる取り組みを積極的に進めていくことが必要と考えます。

### (4) 社会に開かれた教育課程の実現

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】

◎保護者アンケート「学校は保護者や地域の方に対して情報発信をしている」 全体82 (85) %

◎保護者アンケート「学校は小学校と連携して教育活動に取り組んでいる」 全体74 (71) %

◎保護者アンケート「学校は保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している」 全体90 (93) %

◎保護者アンケート「学校は校内整備や校内美化に取り組んでいる」 全体80 (83) %

保護者アンケートでは「学校は保護者や地域の方に対して情報発信をしている」と全体で82%が肯定的に回答しています。また「学校は保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している」と全体で90%が肯定的に回答しています。学校便りと学年便りをホームページに毎週掲載し、必要な情報を適宜ホームページに掲載しました。

今年度は薬師地区委員会主催の「親子まつり」を3年ぶりに開催し、地域の方の協力で楽しく充実した活動になりました。また、「地域の清掃活動」も継続して実施しました。

## 4 次年度に向けた改善策について

### (1) 確かな学力の育成について

◆学習意欲を高めるため、生徒に身に付けさせるべき資質・能力をしっかりと学ばせるとともに主体的に学ぼうとする力を身に付けさせるための指導方法の研究を進めます。具体的には「見通しをもたせる導入・発問の工夫・価値ある対話の共有・振り返りの設定・構造的な板書とノート指導・思考ツールの活用・認め合い学び合う集団の形成」を踏まえた授業づくりを充実させます。

◆タブレット端末の導入などICTを活用した指導方法については、使用する機会をさらに増やすとともに、目的に沿った利用方法を検証し、タブレット端末やICT機器の利用における質を高めていきます。

◆反復学習など基礎学力定着を図る取り組みを継続して重視します。

### (2) 豊かな心の涵養について

◆集団としての学級・学年を重視し、人との関わりやその問題解決について学ぶことを通して、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣を身に付けさせるようにします。また、自他を尊重する心を育てる指導を重視し、学ぶ場として生徒自らが意欲的に活動できる集団づくりを目指します。

◆「特別の教科道徳」の教科書を活用し、「特別の教科道徳」の時間においては自分の考えや他者の考えから見方や考え方を広げたり深めたりできる指導を目指します。また、人権尊重や規範意識、公共心を高める指導については、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、学年や学級を単位とした活動の中で重点的に取り組み、生徒の豊かな心の教育を充実させるようにします。

◆特別支援教育では、ユニバーサルデザインの視点に基づいた教室環境、学習環境の整備を組織的に取り組むとともに、学校全体での組織的な支援体制を構築し充実を図ります。

◆部活動での指導を含め、生徒達の人と人との関わり方や教員の人権に対する配慮や言動について不適切な指導と捉えられることのないよう慎重に対応するとともに、生徒と保護者に対する信頼をより得られるよう今後も迅速で丁寧な対応に努めます。

### (3) 健やかな体の育成について

◆体育的行事に熱心に取り組む姿勢が学校全体として維持されるよう、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら内容を工夫して、取り組みを継続します。

◆体力を向上させる取り組みとして統一体力テストの日を設定し、全校生徒の体力を数値でとらえる活動を継続しテストの結果をもとに、足りない部分の体力向上を図ります。

### (4) 社会に開かれた教育課程の実現について

◆教育活動の広報は、学校便りや学年便り、その他必要な情報を紙面で配布するとともにホームページによって週ごとに情報発信をします。

◆家庭との連携については、必要に応じて迅速に連絡し、理解と協力がいただけるよう丁寧な対応に努めます。

◆学校運営協議会は年5回開催し、学校経営方針と計画を理解していただき、教育活動の進行管理における協議において必要な調整を行うとともに、学校評価において成果と課題をまとめより良い学校運営を目指します。

## 生徒アンケートの全体的な結果

